

グローバル人材育成のための「バーチャルチームビルディング」と「グローバルコミュニケーション」



日本企業において「グローバルに活躍できる人材」を育成する必要性が、急速に高まってきています。グローバルに活躍するためには、「バーチャルチームビルディング」と、「グローバルコミュニケーション(異文化への理解)」が、特に重要になります。弊社では今年9月、米国Aperian Global社と提携し、グローバル人材育成サービスを開始しました。そのうち2つのプログラムをご紹介します。



●Aperian Global 社
「グローバル」「異文化」「多様性」をテーマとした、アセスメント・トレーニング・コンサルティング事業を展開。米国サンフランシスコに本社を置き、全世界21カ国(アジア5カ国)に支社を持つ。グローバルに事業展開する石油メーカー、金融機関、製薬会社など多業界にわたって顧客を持ち、フォーチュン500企業の30%、トップ10社中8社との取引実績がある。

※以下のプログラムは、株式会社リクルートマネジメントソリューションズが、Aperian Global社のコンテンツの使用ライセンスを獲得し、ご提供するプログラムです。
※以下のプログラムは、株式会社リクルートマネジメントソリューションズのトレーナーが担当します。

Leading Virtual Team

バーチャルチームを効果的に率いるリーダーシップを高めるバーチャルチームビルディング研修

ビジネスのグローバル化に伴い、世界各国の拠点にメンバーが分散する「バーチャルチーム」が増えています。そのようななかでも、チームリーダー(マネジャー)がメンバーに関わり、マネジメントできなければ、優秀な人材ほど退職してしまいます。バーチャルチームのリーダーは、国籍が異なり、時には会ったことすらないチームメンバーの力を引き出し、チームとしての成果に結びつけるためのスキルを高める必要があります。

■「バーチャルチームならではの」の具体的課題を解決

バーチャルチームのリーダーが直面する課題を扱い、実際の解決のヒントを示します。

- | | | |
|---------------|-----------|--------------------|
| 1. チームの基盤づくり | 2. 文化の多様性 | 3. バーチャルなコミュニケーション |
| 4. チームミーティング | 5. 問題解決 | 6. チームプロセス |
| 7. チームパフォーマンス | | |

■「バーチャルチーム」のベストプラクティスを提供

バーチャルに仕事を進めることの多い欧米グローバル企業における、リサーチをもとにしたベストプラクティスが豊富です。

■プログラム例

| 9:00 | 9:30 | 12:00 | 13:00 | 16:00 | 17:00 |
|----------------|--------------------------------------|---------------------|---------------------|--|-------------|
| オリエンテーション | バーチャルチームが直面する課題と key Success Factors | Structure | Trust | Expectations | Performance |
| ・研修目的 ・自己紹介 | ・ディスカッション ・シミュレーション | ・レクチャー ・ディスカッション | ・レクチャー ・ディスカッション | 文化の Dimension ・レクチャー ・ディスカッション 意思決定 ・レクチャー 権限委譲 ・レクチャー ・ディスカッション バーチャルコミュニケーションとミーティング ・レクチャー | ・ケーススタディ |

このようなニーズにおこたえするプログラムです

- 少ないコストで高い成果を生み出すことのできるバーチャルチームの強化
- 部下の仕事を把握し、評価できるバーチャルチームのリーダー育成



Working Globally

アセスメントを通じて自分と他者を理解し、異文化間で生じるギャップを超えるグローバルコミュニケーション研修

バーチャルチームの増加と同様に、国籍、言語、文化的背景などの異なる顧客や協働者とのコミュニケーションの機会も増えています。コミュニケーションを円滑にし、仕事の成果をあげるためには、異文化間で生じるギャップを乗り越えることが必要です。まずは自分と他者の特徴を理解し、互いに歩み寄ることがその第一歩となります。

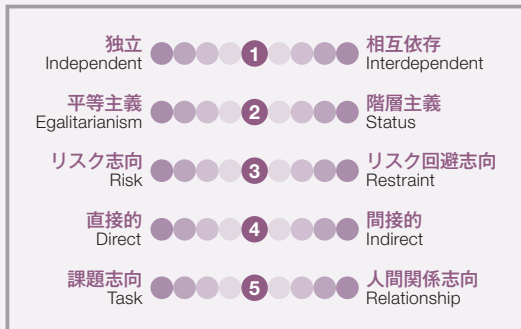
このようなニーズにおこたえするプログラムです

- 海外赴任の候補者を対象とした異文化でのマネジメント力の向上
- 外国人社員の適応およびその上司や職場の受け入れ強化
- 全社員を対象としたグローバルマインドの醸成と異文化コミュニケーションスキルの向上
- 次世代リーダー育成におけるグローバルリーダーシップ開発

■「自分」と「相手」を捉える共通フレーム

グローバルにビジネスを進める際に、その進め方やコミュニケーションに影響を与えるのが「文化」です。本プログラムでは、文化を分かりやすい5つのディメンション(下図参照)から捉えます。

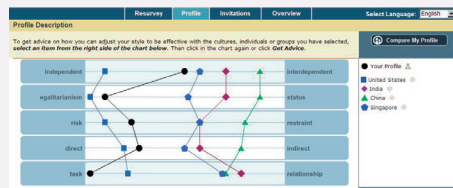
文化の5つのディメンション



■オンラインデータベース “GlobeSmart®”を活用

GlobeSmart®上のセルフアセスメントによって、自分の特徴と、共に仕事をする他者や国の特徴を比較することができます。

また、研修前後の一定期間GlobeSmart®にアクセスすることができ、世界60カ国以上の国について、各国でビジネスを効果的に進めるために必要なナレッジを獲得することも可能です。



※GlobeSmart®単体でアクセス権のライセンス提供(1年間)も可能です

■ギャップを埋めるスキルを習得するための3つのテーマ

文化の5つのディメンションで知った、自分と他者のギャップを超えるためのスキルは、下記3つのテーマに沿って習得します。

①信頼関係の構築

②フィードバックの授受

③人材の評価

■プログラム例

| | 9:30 | 10:00 | 11:20 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 17:30 | 18:00 |
|------------------------|-----------------------------|--|--|-------|--|--|------------------------------|-------|
| 事前課題 | | | | | | | | |
| Globe Smart®のセルフアセスメント | オリエンテーション ・研修目的 ・自己紹介 | 文化の5つのディメンション 文化を捉えるフレームを、エクササイズと解説を通じて学ぶ | セルフアセスメント GlobeSmart®の結果を通じて自分と他者の価値観の違いを理解する | 昼食 | ギャップを埋める基本戦術 スタイルの違いを超えて、効果的にコミュニケーションをとるための基本戦術を学ぶ | ギャップを埋めるスキル ①信頼関係の構築 ②フィードバックの授受 ③人材の評価 | 行動・計画 今後「すること」「しないこと」を決める | |
| | 自分を知る | | | | ギャップを埋める | | | |
| | | 他者を知る | | | | | | |